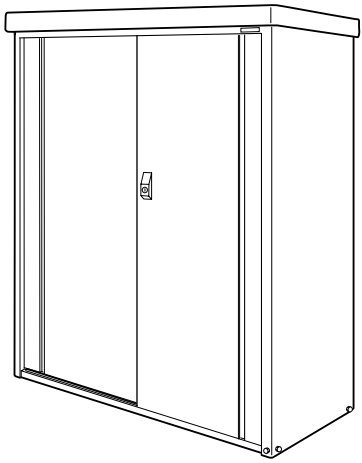
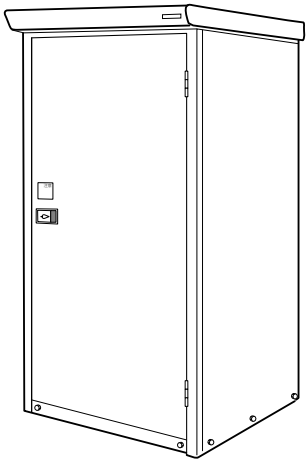
ダイケン物置 DM−GY 型

取 扱 説 明 書

（保証書付）





ご使用の皆様へ

- このたびは、ダイケン物置をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- この取扱説明書は、物置の正しいご使用方法・設置方法及びお手入れ方法などの説明を掲載していますので、ご使用前には必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- また、当説明書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

工事店・施工主様へ

- この取扱説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。

株式会社ダイケン

1. はじめに

- この取扱説明書は、物置を組立てる方及びご使用になる方のために使用方法を説明したものです。

- 最初にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

- 当説明書中“⚠注意”・“お願い”の表示箇所は、特に大切な事項です。必ず読んでお守りください。
  お守りいただかないと、思わぬ事故や怪我につながる恐れがあります。
  また、物置本体や収納物をいためる場合があります。

下記事項を必ず記入し、保管してください。

購入年月日：　　年　　月　　日

購入店名：

機種名：　　型

鍵ナンバー：

2．目　　次

1．はじめに ……1

2．目　　次 ……2

3．安全にお使いいただくために ……3
　設置場所について ……4
　組立施工について ……5・6
　安全な使用の為に ……7

4．製品の概要
　各部の名称 ……8
　錠前について ……9
　各部の強度 ……10

5．ご使用方法
　通常時の使い方について ……11
　収納の仕方について ……12

6．お手入れ方法 ……13

7．修理のご案内 ……14

3. 安全にお使いいただくために

●物置のご使用前にこの「安全にお使いいただくために」をよく読みになり、理解してから使用してください。

●安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、本取扱説明書では次のようなシンボルマークとシグナル用語で危険のレベル分けをしています。

⚠危険 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合（高度な危険を含む）。

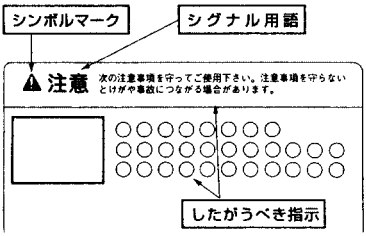
⚠警告 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

⚠注意 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

「必ずしてほしい行為」を表します。

「禁止」を表します

本文では以下のように使用します。

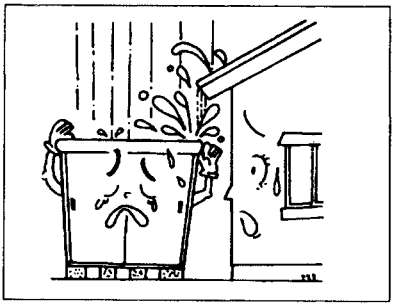


「シグナル用語」に続くしたがうべき指示を十分お守りにならない場合、人身事故につながる恐れがあます。

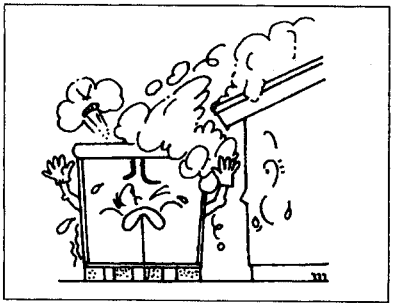
設置場所について

⚠注意 **次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。又収納物に被害を与えます。**

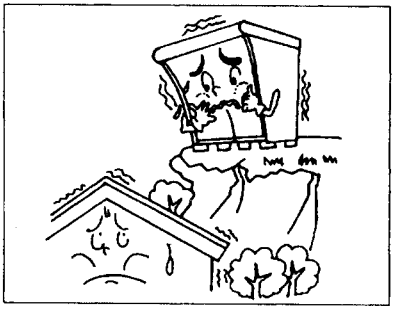
屋根から雨水が直接物置に落ちない場所へ設置してください。



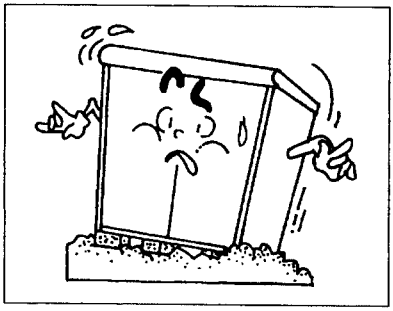
屋根から雪が落ちる場所へは設置しないでください。



がけぎわなどくずれ落ちる恐れのある場所へは設置しないでください。

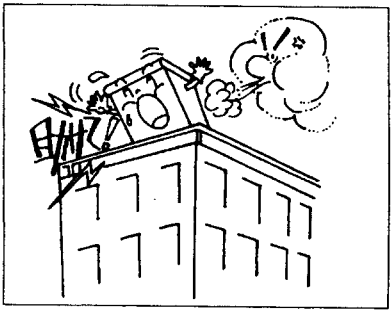


地盤がやわらかい場所は地固めを行ってから設置してください。



避難口には、置かないでください。

屋上へは設置しないでください。



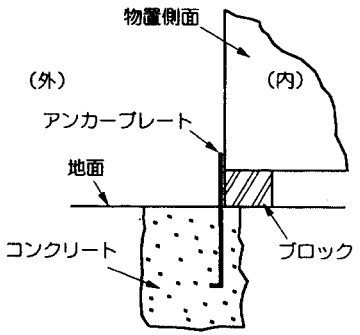
組立施工について

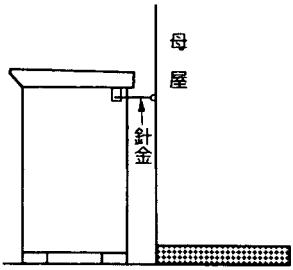
⚠ 注意 **次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。**

- 組立施工の前に当「取扱説明書」及び「組立説明書」を必ずお読みください。

●基礎・ブロックは水平・直角に必ず施工してください。

- 組立施工の前に下記事項を用意してください。
  ①指定の基礎ブロック（組立説明書に記載の大きさと必要個数）
  ②アンカー工事用のセメント
  ③転倒を防ぐ針金（線径 1.0mm～2.0mm 程度）





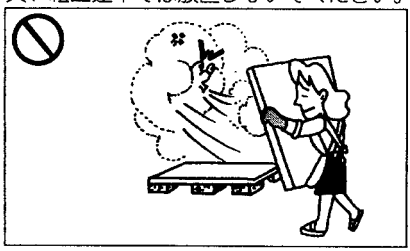
組立施工について

⚠注意 **次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。**

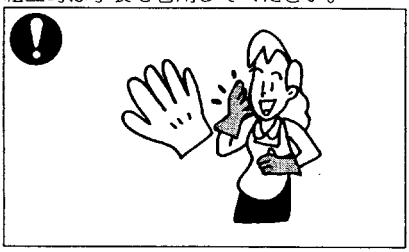
組立施工の際にはかならず「組立説明書」を読みながら順序どおり行ってください。

組立前に、まず組立説明書をよくお読みください。

風の強い日は組立作業をしないでください。
又、組立途中では放置しないでください。

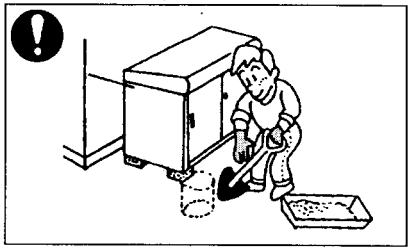


組立時は手袋を着用してください。

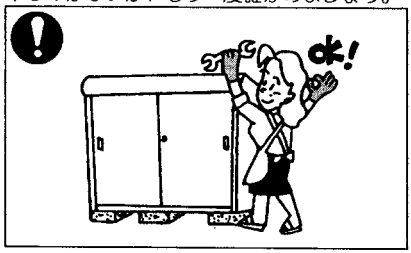


踏み台又は脚立などを使用してください。

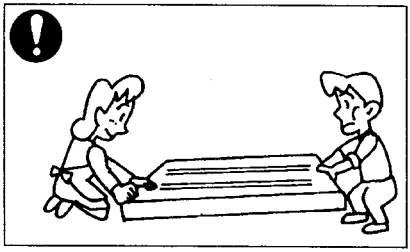
アンカー工事などの転倒防止工事は必ず行ってください。



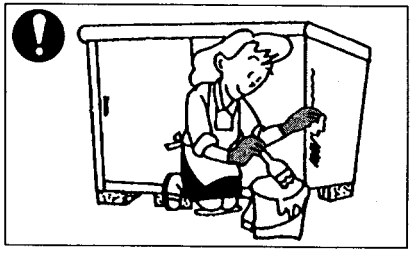
組立て後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか、もう一度確かめましょう。



重量部材（特に30kg以上）の運搬は、二人以上で行ってください。



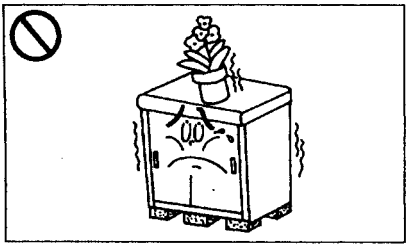
お客様が組立の場合は、二人以上で行ってください。



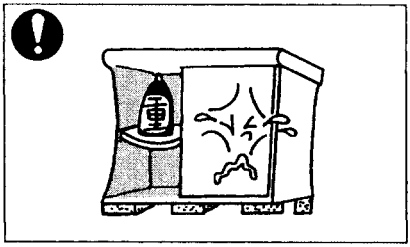
安全な使用の為に

⚠ 注意 **次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。又収納物に被害を与えます。**

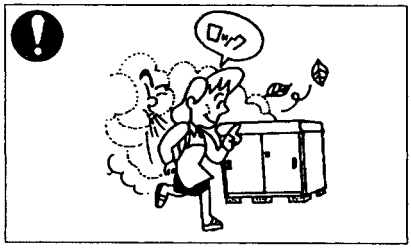
屋根の上に物を置かないでください。



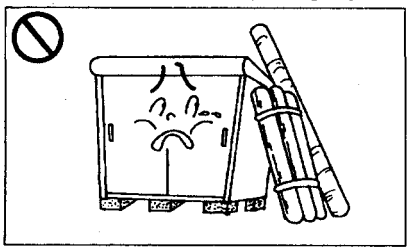
荷重制限をおまもりください。



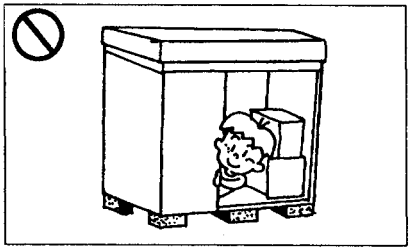
台風・強風のときは扉に鍵をかけてください。



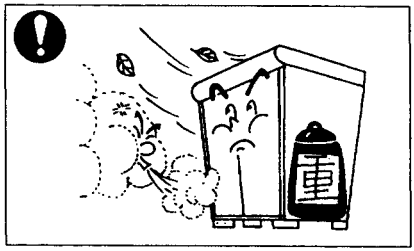
外壁に物を立てかけないでください。



物置は本来品物の収納に使用されるものです。子供の遊び場など他の目的に使用しないでください。

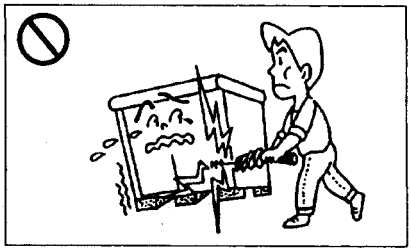


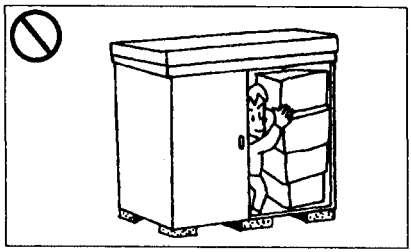
品物があまり入っていないと強風のとき転倒する恐れがあります。床に重いものを置いてください。



物置の中に人がいる場合は鍵をかけないでください。

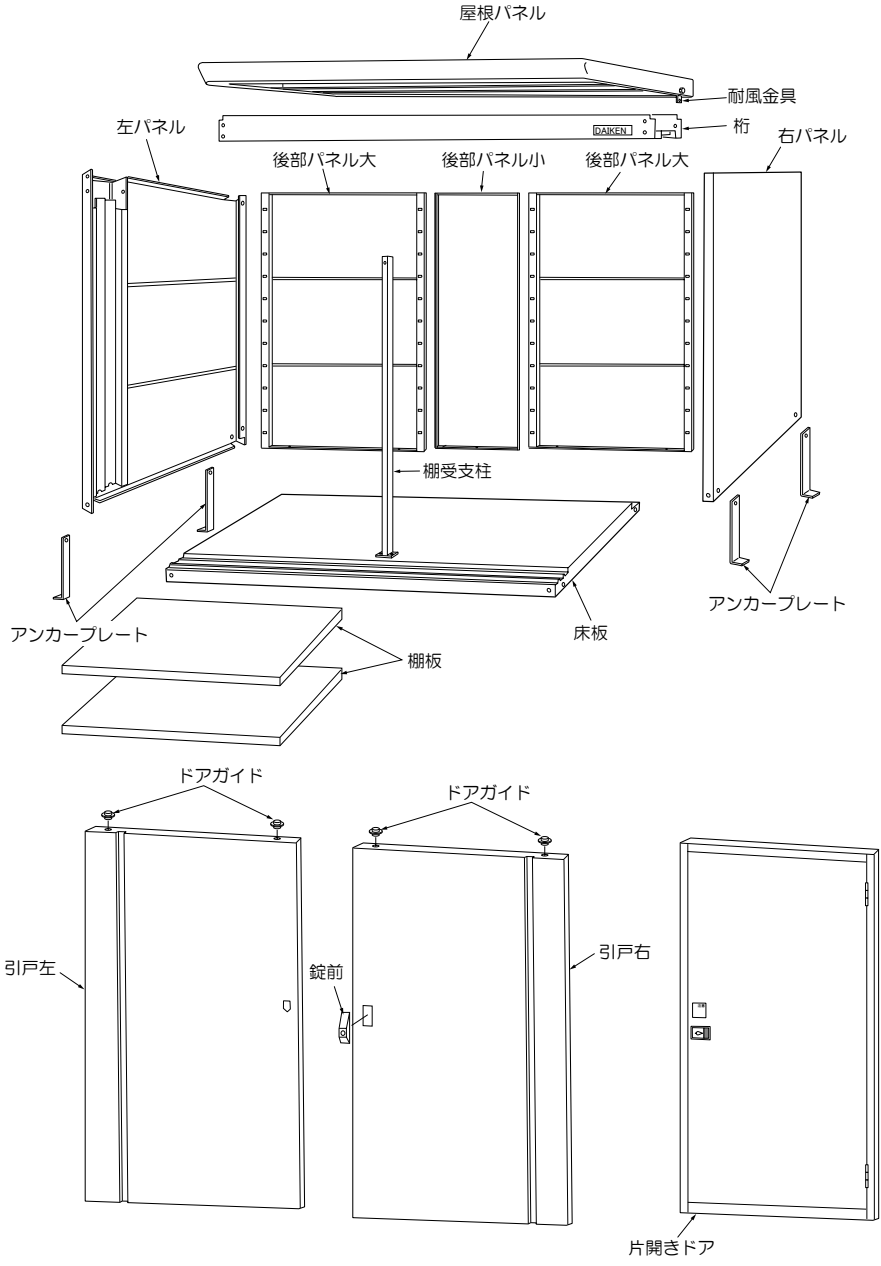
改造しないでください





4. 製 品 の 概 要

各部の名称

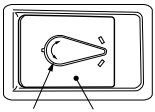


錠前について

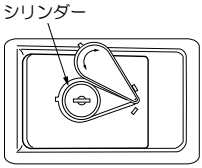
099型：片開きドアタイプに適応

この物置は『簡易的に施錠する』場合と『確実に施錠する』場合の
2通りの仕様となっております。使用方法をよくお読みのうえご使用ください。

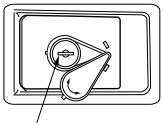
●錠前について



フタは上下に回転します。
回転させるとシリンダーがあります。

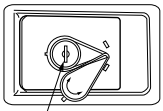


シリンダーの状態
（OPEN状態）



長方形が横長になっています。

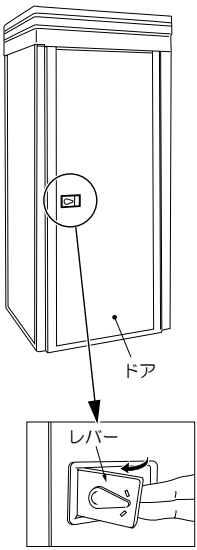
（LOCK状態）



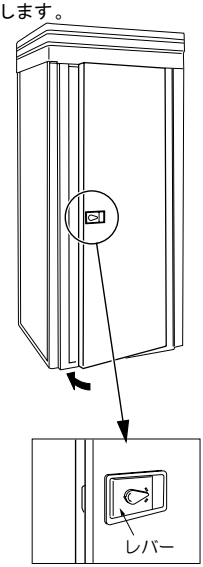
長方形が縦長になっています。

●簡易的に施錠・開錠する場合

（開錠）
錠前部のレバーを引くことで仮施錠が解除されドアが開きます。
（シリンダーをOPENの 状態にしておいてください）

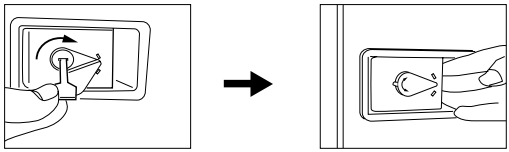


（仮施錠）
ドアを閉めることで仮施錠します。
※錠前を触らずに閉められますが、丁重にご使用いただくには、レバーを引いた状態でドアを閉め、納まってからレバーを戻すと仮施錠します。



●確実に施錠する場合

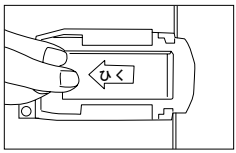
（まず、仮施錠の状態にします。）



シリンダーに『キー』を差し込み90度回す。

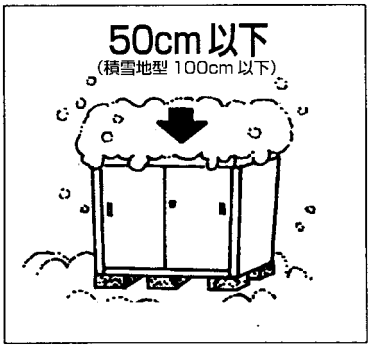
『キー』を抜き、レバーが引けないことを確認してください。

庫内にいる時に仮施錠されてしまった場合



レバーを矢印の方向にひくことで仮施錠が解除されます。
レバーをひいたまま、ドアを押してください。
（但し、キーによる施錠時には解除できません。）
※あくまでも非常時用のレバーです。このレバーを使用する様な物置の使用はしないでください。

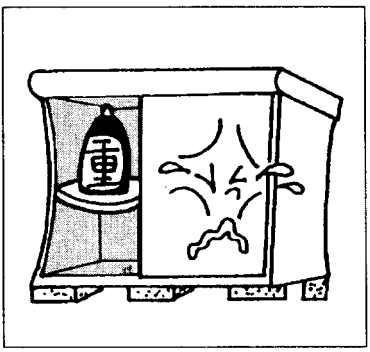
各部の強度



屋根の強度

積雪強度は通常地型1000N(100kgf)/㎡(雪の深さ約50cm)、積雪地型3000N(300kgf)/㎡(雪の深さ約100cm)に耐えますが、安全のため雪降しは早めに行ってください。

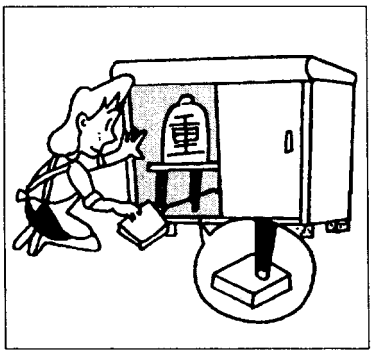
棚の強度



棚板強度は大きさにより、許容荷重が異なります。下記の荷重以上は物をのせないでください。又、物をのせる時は、静かに置いてください。

部 材 名	棚板(幅×長さ)	1枚の許容荷重
棚 板 C	577mm×643mm	350N (35kgf)以下
棚 板 D	577mm×843mm	400N (40kgf)以下
棚 板 E	777mm×843mm	550N (55kgf)以下
棚 板 F	777mm×543mm	400N (40kgf)以下
棚 板 G	777mm×643mm	400N (40kgf)以下
棚 板 H	577mm×897mm	400N (40kgf)以下
棚 板 I	577mm×743mm	400N (40kgf)以下

床の強度



床の強度は、物を均等に置いた状態で下記の荷重に耐えます。

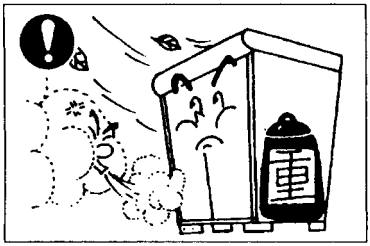
尚、重量のある脚付の収納品は脚の下に厚い合板をしいてください。

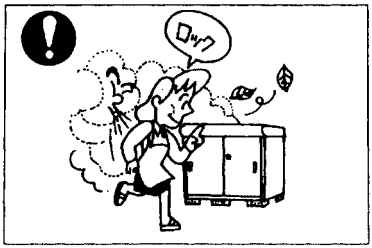
床 板 の 許 容 範 囲
2000N (200kgf) / ㎡

5. ご 使 用 方 法

通常時の使い方について

⚠ 注意 4～7ページの注意事項を守って使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。又収納物に被害を与えます。



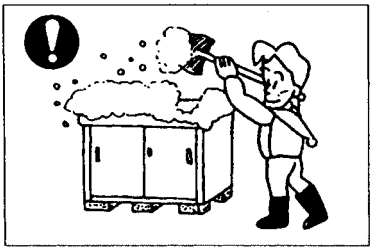


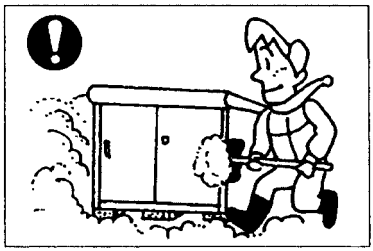
⚠注意

台風や強風時には

①床に重い物を置いて、物置が動いたり転倒したりしない様にしてください。

②物置の中に風が吹き込まぬ様ドアを閉めて必ず鍵をかけてください。





⚠注意

積雪時には

①屋根の上に雪が、20cm以上積ったら雪降しをしてください。(積雪地型は50cm以上)

②脚立などを使ってケガのない様安全に作業を行ってください。
危険ですので屋根に乗らないでください。

③物置の周囲の雪は適時、除雪してください。

収納の仕方について

○物置は鉄板製の為、季節の変化や、地域差、又は気候により、庫内は温度、湿度・ほこり・結露などの影響を受ける場合があります。

お　願　い

(1) ドアを開けて庫内の換気をしてください。
季節または地域により、庫内がむれたり、結露する場合があります。

(2) 衣類や電気製品など湿気やほこりを嫌う収納品はビニール袋やダンボール箱などに入れてください。
ほこりや湿気から収納品を保護してください。

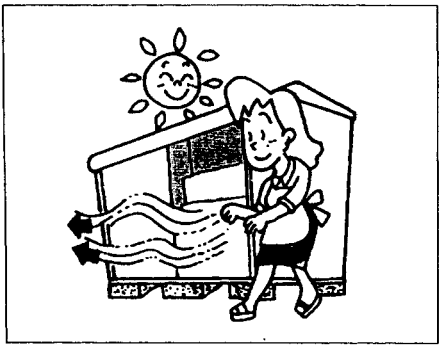
(3) 危険物は収納しないでください。

(4) 漬物樽等は塩分により、サビの発生原因になりますので受け皿の上に樽を置いてください。

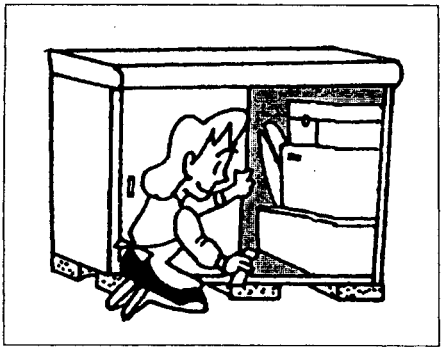
(5) 肥料や農薬など化学肥料類もサビの発生原因になりますので、床面に散乱しない様にしてください。

6. お手入れ方法

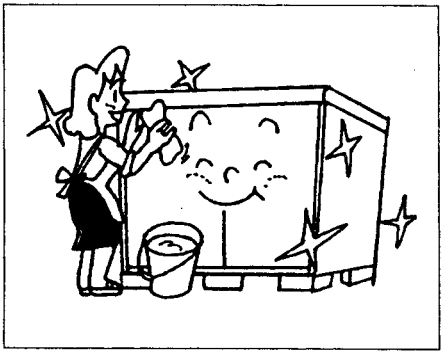
庫内がムレたり、結露した時は扉をあけて、風通しを良くしましょう。



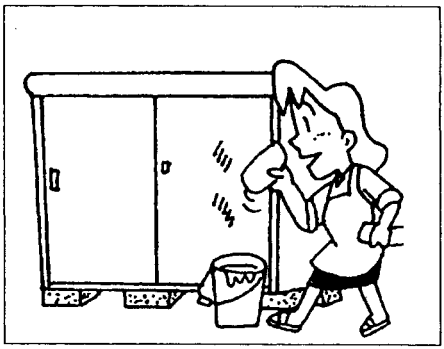
屋根や雨樋及びドアのレールには枯葉やゴミ・ドロ・小石などがたまります。
定期的に掃除して下さい。



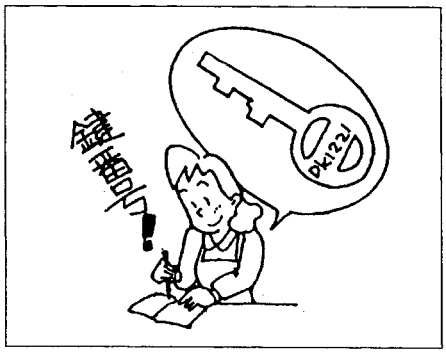
汚れたら水洗いやワックスがけなどをしましょう。



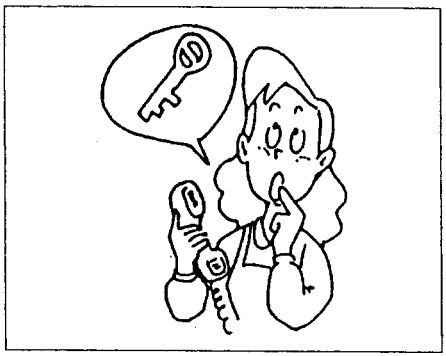
錆が発生したときはサンドペーパーをかけ、水や汚れをふき取って、塗料を塗ってください。



鍵の番号は本説明書の１ページにひかえておきましょう。



錠前が故障したとき、また鍵を紛失したときは、お買い求め先にお申し出ください。



7．修 理 の ご 案 内

- 修理に関するお問い合せは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 製品に関するお問い合せ又は万一不都合な点については、下記の弊社営業所へご連絡ください。

住宅関連製品総合メーカー
株式会社ダイケン

成田工場	〒286-0225	千葉県冨里市美沢11-1	TEL (0476) 90-0711 FAX (0476) 90-0715
本　　社	〒532-0033	大阪市淀川区新高2丁目7番13号	TEL (06) 6392-5321 FAX (06) 6397-8600
札幌支店	〒004-0801	札幌市清田区里塚一条1-9-1	TEL (011) 881-3121 FAX (011) 881-3110
東京支店	〒130-0024	東京都墨田区菊川1丁目12番5号（東京第1営業所／東京第2営業所）	TEL (03) 3633-6551 FAX (03) 3633-6556
名古屋支店	〒491-0822	一宮市丹陽町伝法寺4360-9	TEL (0586) 77-7561 FAX (0586) 77-7452
大阪支店	〒532-0033	大阪市淀川区新高2丁目7番13号（大阪第1営業所／大阪第2営業所）	TEL (06) 6392-5556 FAX (06) 6395-8257
盛岡営業所	〒020-0066	岩手県盛岡市上田2-12-31（工藤第2ビル 3F-A）	TEL (019) 629-2202 FAX (019) 629-2208
仙台営業所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町5丁目11番26号	TEL (022) 235-4380 FAX (022) 236-6894
埼玉営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4丁目57番7号（斉藤本館ビル4階）	TEL (048) 667-9381 FAX (048) 667-9385
神奈川営業所	〒220-0023	横浜市西区平沼1丁目5番7号	TEL (045) 316-3901 FAX (045) 316-3904
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地2丁目9番20号	TEL (054) 237-5375 FAX (054) 237-6982
岡山営業所	〒709-0614	岡山市東区竹原2186	TEL (086) 297-9100 FAX (086) 297-7412
広島営業所	〒730-0806	広島市中区西十日市町2-19（パレ辻本1階）	TEL (082) 294-9181 FAX (082) 294-0331
福岡営業所	〒812-0888	福岡市博多区板付1-3-6	TEL (092) 482-8112 FAX (092) 482-8114
特販営業所	〒130-0024	東京都墨田区菊川1丁目12番5号	TEL (03) 3633-6552 FAX (03) 3633-6590
東京西出張所	〒207-0015	東京都東大和市中央4丁目962-12-101	TEL (042) 567-1338 FAX (042) 567-1366
工　　場		室蘭・成田・十三・兵庫・岡山・津山	

保 証 内 容

1. 正常な設置・組立かつ正常な状態において、製造上の責任により使用上支障をきたす欠陥がある場合、保証期間内中無償修理いたします。
2. 保証期間中でも、下記の場合修理は有償となります。
   1）火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変による損害。
   2）使用上の誤り、不当な修理や改造及び移設をした場合の損傷。
   3）屋上等、風が強くあたる場所に設置したことにより発生した場合の損傷。
   4）強度基準を越えた条件下でのご使用による損傷。
   5）取扱説明書・組立説明書に記載している転倒防止に必要な工事がなされてない場合の転倒事故による損傷。
   6）第三者の故意、または過失による傷や破損。
   7）海岸・温泉地・化学工業地域等、腐食環境地域より半径5㎞以内及び農薬（除草剤等）・融雪剤等に起因する腐食及び表面仕上げの変色等外観上の不具合。
   8）本書の提示がない場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効。

   ＊保証期間経過後の修理については有償となります。

エクステリア製品 保 証 書

このたびは、ダイケン製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
当社製品は厳密な品質管理のもと製造され、充分な品質検査を経てお届け致しておりますが、万一製造上の責任による使用上支障をきたす欠陥があった場合は本書記載内容（裏面）の範囲内において修理させていただきます。
修理時は必ず本保証書をご提示のうえ、お買い上げ店にご依頼ください。
本保証書は再発行できませんので大切に保管くださいますようお願い致します。

住宅関連製品総合メーカー
株式会社ダイケン

お手数ですがお客様で、お買い上げ年月日、お名前をご記入ください。

製品名 型式	
保証期間	お買い上げ日より　2年間
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日
お客様	ご住所
	ご芳名
	お電話番号
販売店名 住所・電話番号	